

平成30年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田市立自泉会館（岸和田市岸城町5番1号）		
指定管理者名	岸和田文化事業協会		
指定管理料	11,884,000円	指定管理期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）
公募/非公募	公募	施設所管課名	魅力創造部文化国際課
施設運営の根拠となる計画等	岸和田市文化振興計画 該当ページP46		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	基本協定書に基づき、施設管理を適切に実施した。30年度は安全面に配慮し、老朽化したブロック塀の改修を実施した。
運営業務の実施状況	自主事業では、市民団体の特性を活かし、クラシックの新人演奏家を育成・紹介するフレッシュコンサートなどを実施。展示関係としては、ワークショップなど文化活動を行う市民や団体の交流の場として事業に取り組んだ。受託事業では、一般公募した子ども達によるオペレッタやプロによる公演や指導などを実施した。また、年4回機関紙を発行し、岸和田の文化情報を提供した。
施設の利用状況	利用者数推移（3か年度分記入してください。）
	H28：18,435人 H29：18,366人 H30：17,878人
	入場料収入等推移（3か年度分記入してください。）
	使用料収入 H28：2,060,750円 H29：2,382,550円 H30：2,004,100円
上記推移の理由等	平成29年度は、ホールなどの利用がわずかに増加したため、使用料収入が増えたものの、平成30年度には例年並みに戻った。

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等
A1	1 履行確認
	A1 施設管理、事業ともに協定に沿った運営を実施した。
	2 サービス水準の確認
	A2 適切に提供している。
	3 事業収支の確認
A 事業計画に沿った経営を行っている。	
	総合評価理由・意見等
	自泉会館は、長らく市民の文化活動の発表の場として活用されてきた施設である。指定管理者は、施設の特性を熟知し、施設を活かした文化振興事業を展開している。また、国の有形文化財である施設を見学者（市内外から421人）に解説・案内を実施し、施設の魅力を伝えている。

4. 今後の方向性

前年度の業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	若い人をもっと呼び込むため、今年度は現代アートをコンセプトとしており、アートディレクターを1年間通して依頼。展示以外にも展示内容にあった音楽とのコーディネートなども行ってもらう予定。 今までプロの演奏などを鑑賞する事業が中心だったが、市民や文化活動を行う団体の交流の場となる事業や一般公募による演劇といった、市民を巻き込んだ事業を行う予定。
---	---